

Topic 1

◇ 文理選択 「鉄則」とは？「裏技」とは？

高1生は、高2で選択する科目を選ぶ「文理選択」の時期ですね。大学受験で求められる知識をこれから増やしていこうという高1生ですが、「文理選択」の際、何を基準にして決めればよいか分からない人が多く、よく相談を受けます。俊英館では、入試情報の知識が豊富なスタッフが、一人ひとりに合わせた選択の相談に乗ります。少しでもわからないことがあったらぜひ声を掛けてください。

◇理系でしかねない職業

理系の大学を卒業しないと資格が得られない職業があります。次の職種を希望する人は、迷わず理系を選択しましょう。医師、獣医、薬剤師、建築士などです。

理系の大学を受験するために、数Ⅰ・A、数Ⅱ・B、数Ⅲが必要で（薬学部は数Ⅲが必要ない大学もあります）、理科も基礎科目に加えて、いわゆる「基礎なし」の物理、化学、生物のいずれかが必要になります。ほとんどの高校では、理系を選択しないと理科の基礎なし科目の授業は受けられませんので、注意が必要です。

◇文系が有利な職業

弁護士、司法書士、学芸員などは、文系の大学を卒業すると有利になります。試験の一部が免除されたり、大学に資格取得のための講座があったりするからです。

文系に進むと、「受験では数学を選択できない」と考えている人がいますが、そんなことはありません。多くの大学の文系学部（法学部・経済学部・文学部など）の入試で数学が選択できます。「数学が得意なのでそれを活かすために、法学に興味があるけれど理系を選択しよう」ということで、数学を活かしながら文系学部を受験できるので安心してください。また、何より得意科目を選択しておくことで、「評定平均」が上がり、推薦での大学合格の可能性が高まります。最終的な受験科目の決定にあたっては、志望大学の入試要項を必ず確認してください。

◇文系・理系が決めきれない人は…

やりたいことが決まらないために文理選択に迷う、得意科目と不得意科目にそれほど差がないために迷うという人がいます。可能性を狭めない文理選択をすることがポイントです。

迷ったら理系を選択。これが鉄則です。理由は、理系を選択した後に自分に合わないことが分かったら文系に変更することもできますが、文系を選択した後に理系に変更するのは現実的ではありません。その理由は、理系科目を選択していないので、入試のために自分で勉強しなければならず、それは非常に難しいからです。でも、文系科目は暗記科目が多いため、その逆はなんとかなります。過去の例でも、「最終的には文系に進んだが、理系を選択しておいてよかった」という先輩は多くいます。

◇裏技？！

選択に迷いはつきものです。試験でも「最後の2択で迷った。逆を選んでいれば正解だった！」という経験はだれでもあると思います。そんな選択に迷ったときの考え方は、選択が間違ったと仮定したときの後悔する度合いを比較し、「後悔する度合いの低いほうを選択する」です。

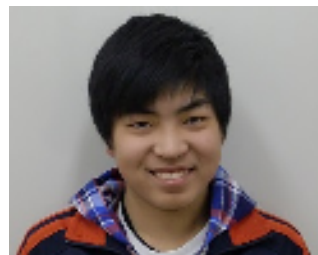
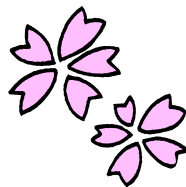
A を選択して間違っったときに後悔する度合いと、B を選択して間違っったときに後悔する度合いを比べて、その度合いが低いほうを選択するのです。裏を返せば、「こっちを選んで間違ったらしょうがない」と潔く決断することです。逆を選んで間違ったら、より大きな後悔が待っているからです。この考え方も参考に、より良い「文理選択」をしてください！



小山 颯太くん

■合格大学：人間総合科学大学 保健医療学部

■学校名：県立羽生第一高校 ■校舎名：行田中央校



● 合格を手にしたの感想

この大学に合格できて嬉しいです。夏にAO入試を受けましたが不合格になり、とても不安になりました。しかし、入試直前まで決してあきらめませんでした。受験したどの大学も倍率は高かったのですが、一般入試での合格をイメージして毎日勉強をがんばってきました。

担当講師より：冬休みに入ってから、毎日塾でWEB授業を受講していました。冬休みが終わり学校が家庭研修期間に入ってから、塾が開いてから閉まるまで(夕食を食べに家に帰る以外は)ひたすら塾で勉強をして、逆転合格を勝ち取ることができました。努力と頑張りには彼を裏切りませんでした。

● 将来の目標は？

高2の冬に骨折して、その時にお世話になったリハビリの先生の働く姿を見て、自分もこの仕事を目指したいと思いました。多くの人を助けていきたいです。

● 俊英館に通塾して良かったところは？

とにかく平日は毎日塾に行って映像授業を受け、プラスα自習をやっていたら少しずつ成績が上がりました。気軽に質問できるところが良かったと思います。塾の国語の先生にもらった自分用の特別な古典のプリントが定期テストだけでなく受験勉強においても非常に役立ちました。

● 後輩へのアドバイス

1・2年のうちにしっかり勉強はしておいた方がいいです。高3から受験勉強を始めても、大学受験は範囲も広く難易度も高いので、高校入試のように成績は伸びていかず、絶対に苦労します。高1から緊張の糸を切らすことなく、毎日継続して勉強することが大事だと思います。

模擬テストの結果をみると、英語の発音・アクセントの得点率が低い人が思いのほか多くいます。これは、弱点項目と分かっているながらも、発音・アクセントの対策を怠っている人が多いことを表しています。なぜ、対策をしないのかをたずねてみると、「発音・アクセントが苦手であることは分かっている。でも今は他に重要な単元に苦手があるから、そちらの克服を優先したい。発音・アクセントの対策は短期間で済むから、センター試験1ヶ月前ぐらいにやれば大丈夫だろう。」というような答えが返ってきます。

しかし、**受験勉強を有利に進めるためには、できるだけ早く発音・アクセント問題の苦手を克服すべきです！** 発音・アクセント問題は、頻出パターンが決まっていて対策が取りやすい。そうだからこそ、対策を早く済ませてしまうことで、そのパターンを定着させる期間が長くなり、入試での得点率を高めることができます。日常の英語学習で、発音・アクセントへの意識が高くなり、1つ1つの単語の正確な発音・アクセントを身につけることができるようになります。

後回しにすれば、パターン定着の期間が短くなり、うる覚えによって失点する可能性が高くなります。また、難関私立大に多い、パターンにはまらない単語(標準レベルの発音・アクセント問題集に載っていない単語)の対策の時間が取れず、そんな単語が出題されると本番では手も足も出ません。

受験生に限らず、暗記すべき単語数が増えてきた高2生のみなさんも、ぜひ定期テストが終わったこの時期、発音・アクセント問題の対策をしてみてください。薄い問題集を1冊仕上げるか、現在使用している問題集の発音・アクセント問題の単元を完了させるだけで十分なのです。

早めに発音・アクセント問題の解法パターンを頭に入れ、それを多くの演習問題で適用して、得点源にしてください。

■ 学部と学科の違いは？

経済学部経営学科といった場合、経済学について研究する学部のうち、とくに経営学について研究する学科のことです。つまり、学部は、専門とする学問の分野によって区分された教育・研究上の組織。学科は、学部の中で専門をさらに細かく分割した組織を表しています。

たとえば、文学部で学ぶ歴史学は、ヨーロッパ史、アジア史などの地域史に分かれ、アジア史はさらに中国史、インド史、日本史などの各国史に分かれ、各国史はさらに中世史、古代史などに時代区分されるといったふうに専門・細分化されています。同じ、あるいは似た専門領域を集めて学科とし、それぞれの学科を学問分野でまとめて学部と呼んでいます。

入試では、工学部や理学部などでは学科ごとに募集する場合がありますが、多くの場合は学部ごとで募集されます。多くの大学の経済学部には経済学科と経営学科、法学部には法学科と政治学科といった学科が設置されています。したがって、受験生は、〇〇学という大きなくくりで学部を選び、入ってからその中の小さいくくりである学科を選択すればよいわけです。

学部・学科は教員、学生が所属する教育・研究上の組織ですが、これを置かない大学も増えています。筑波大は、開学当初から学部・学科を置かない大学ですが、学生の所属は学群・学類、教員の所属は学系として、教育と研究の分離を図りました。学群・学類・学系制は、その後、福島大、桜美林大、高知工科大などでも採用されています。

■ 理学部と工学部の違いは？

大学の学問は、自然、社会、人文の各科学から成り立っています。理学部はこれらのうち、化学、物理学、地球科学、生物学、天文学という自然科学の5分野に、数学を加えた6分野の教育・研究を行います。

そして、これら6分野の学問を基礎として生まれたのが工・医・薬・農などの応用科学です。工学には、機械を扱う機械工学、電気・電子機器を扱う電気・電子工学、ダムや橋梁などを扱う土木工学など様々な専門分野があります。

かつては、理学は基礎、工学はその応用と言われてきましたが、現在では、基礎と応用は密接に結びつき研究者同士も連携・協力し合う関係になっています。そのため、理学部と工学部の諸学科を同じ学部にまとめ、理工学部とする大学が私立大学を中心に多くなっています。

■ 経済学部・経営学部・商学部の違いは？

経済学、経営学、商学は、経済活動について学ぶ学問であることは共通です。違いは、経済学がその理論を探究するのに対し、経営学・商学は、経済学を基礎として、実際のビジネス活動を対象とする応用的な学問であることです。

経済学部で学ぶのは、歴史、政策、理論。これらを基礎に、財政学、金融論、環境経済学、計量経済学、各国経済論などを学びます。これらに対し経営学・商学は企業などのビジネス組織が対象となります。経営学部では、企業の効率的な運営・管理の方法、企業を構成する組織、企業活動を発展させるための戦略などについて、商学部では、企業の商取引、なかでも流通とマーケティングが大きなテーマとなっています。

■ 学際系学部とは？

文科省は、日本の大学の学部を系統別に、教養学系、教育学系、人文学系、社会科学系、理学・工学系、農学系、医学・生活学系の7ジャンルに分類しています。多くの大学の学部はその分類に収まっていますが、中には、これに納まらない学部もあります。その代表が学問と学問の接点である「学際」を追求する学部で、これらを学際系学部と呼んでいます。

慶應大学が湘南藤沢キャンパス（SFC）に開設した総合政策学部と環境情報学部が、最初の学際系学部といわれています。現代社会で問題となっていることを研究するために、文理を問わずあらゆる学問分野の成果を動員して、教育・研究するというのがこれらの学部の特色です。

